

平成27年度地域リハビリテーション専門人材育成研修 募集要項（現任者研修）

1 地域リハビリテーション専門人材育成研修事業の実施目的

リハビリテーションの理念を踏まえて「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかける介護予防事業を推進するために、リハビリテーションの専門職等を対象にして、多職種との連携の必要性を理解し、業務を行う上で必要となる知識及び技術の習得・向上を図り、もって高齢者が住み慣れた地域においてそれぞれの状態に応じた質の高い生活期のリハビリテーションを提供される体制整備に資する人材の養成を目的として、研修を実施するものです。

2 現任者研修のねらい

都内の医療機関並びに介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション及び訪問看護などの介護サービスを提供する事業所に勤務する者に対して、地域リハビリテーションの理念を踏まえたケースマネジメントや地域づくりにおけるリハビリテーション専門職の役割を理解する実践的な研修を実施し、その技術の向上を図ります。

3 実施主体

東京都福祉保健局 高齢社会対策部（以下「都」という。）

※研修実施機関：公益財団法人東京都福祉保健財団（以下「財団」という。）が都より委託を受けて実施します。

4 対象者

- (1) 地域包括支援センター又はその他行政関係機関が実施する介護予防関連事業を担当しているリハビリテーション専門職
- (2) 地域リハビリテーションに関連する医療・介護保険のサービス提供事業者においてリハビリテーション専門職として勤務する者
- (3) 東京都福祉保健局医療政策部の指定する地域リハビリテーション支援センターに勤務するリハビリテーション専門職

ただし、上記(1)～(3)に該当する者のうち、勤続年数が5年以上あり、区市町村又は所属先団体からの推薦を受けた者とします。

※リハビリテーション専門職：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、柔道整復師、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師等

5 研修日程・募集定員・会場

研修日程		募集定員	会場(※)
1日目	2日目		
平成28年2月6日(土)	平成28年2月7日(日)	50名	財団研修室3・4

(※) 財団研修室3・4：新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル 19階

(最寄り駅：JR各線「新宿駅」徒歩15分／東京メトロ丸の内線「西新宿駅」徒歩8分／都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」徒歩5分)

6 申込み方法及び提出期限

「研修受講者推薦票」【別紙】によりファクシミリにて財団宛てに送付してください。

※提出期限 平成27年12月3日(木曜日) <必着>

7 申込みにあたっての注意事項

- (1) 推薦票に受講申込者を推薦順位の高い順に御記入ください。
- (2) 本研修受講に当たっては、事前課題を作成し、研修日より前に事務局へご提出いただくこととなりますので、あらかじめ御承知おきください。
なお、事前課題は受講決定通知と共に送付いたしますので、詳細はそちらをご確認ください。
- (3) 本研修終了後、研修修了者の名簿を都のホームページ等で公表いたします。

8 受講者の決定通知

平成27年12月下旬までに、都が受講者の決定を行い、その決定に基づき当財団から所属先に通知をします。

なお、申込者が定員を超えた場合、受講できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

9 受講料

無料

10 研修プログラム ※研修の受付は、8時45分からを予定しています。

研修時間	科目名	形態
9:20~9:30	オリエンテーション	
【1日目】 9:30~17:15 (予定)	介護保険制度改正の概要とこれからの介護予防	講義
	介護保険制度における地域リハビリテーションの基本	講義
	地域リハビリテーションにおける三職種の実践	講義・演習
	事例検討No.1 疾患別ケースによる地域リハマネジメント	講義・演習
【2日目】 9:30~17:00 (予定)	事例検討No.2 受講者事例による事例検討	講義・演習

【講義・演習を担当する講師(予定)】(敬称略)

林 泰史 (原宿リハビリテーション病院 名誉院長)
長谷川 幹 (三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長)
杉原 素子 (国際医療福祉大学大学院 教授)
浅川 康吉 (首都大学東京 健康福祉学部理学療法学科 教授)
田代 文子 (公益社団法人 東京都理学療法士協会 保健・福祉局次長)
三沢 幸史 (一般社団法人東京都作業療法士会 副会長)
西脇 恵子 (東京都言語聴覚士会 副会長)
南雲 健吾 (特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事)
木野田 典保 (南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター・
医療法人社団永生会 地域リハビリテーション支援事業推進室 室長)
川野 和也 (医療法人社団東京石心会 立川訪問看護ステーションわかば 所長)
松尾 伸子 (目黒区碑文谷保健センター 保健相談係長)
富田 明子 (北区健康福祉部介護医療連携推進・介護予防担当課 介護予防担当主査)
藤原 章雄 (東京都福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課 課長代理)

11 修了証書について

全日程受講された方には東京都知事名で修了証書を発行し、後日、所属先宛てに送付いたします。

12 その他

各研修日ごとにアンケートを実施いたしますので、御協力をお願いいたします。アンケートの御提出については、受講要件とさせていただきます。

【問い合わせ先】

公益財団法人 東京都福祉保健財団

人財養成部 介護人材養成室 地域リハ研修 担当 井原、渡

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル19階

電話：03（3344）8531 FAX：03（3344）8592

（電話受付時間： 平日 8時45分から17時30分まで）

地域リハビリテーション専門人材育成研修 現任者研修カリキュラム

研修科目	内 容	時間	形態
介護保険制度改正の概要とこれからの介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会における東京の現状、27年度介護保険制度改正、地域包括ケアシステムについての認識を深める。また、地域支援事業の全体像と介護予防事業の位置付け、新しい総合事業におけるリハビリテーション専門職の役割について、国の動向と都の現状、今後の取り組み内容について理解する。 	50分	講義
介護保険制度における地域リハビリテーションの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションサービスにおける自身の立ち位置を理解し、居宅の生活期の高齢者を支える、自立支援に資するリハビリテーションの視点を高める。また、専門職として、守るべき倫理等を理解する。 	50分	講義
地域リハビリテーションにおける三職種の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・生活期の高齢者に着目したアセスメント、当事者ニーズを把握するポイントについてのオリエンテーションから、当事者による講演と質疑応答を交えて「当事者の“主体性”、“自立”」とは何かの本質を理解する。 ・質の高いリハビリテーション実現のためのマネジメント視点を養い、サービス卒業後の社会参加のイメージを掴む。 ・利用者主体の日常生活に着目した目標設定、多職種協働を実現するためのリハビリテーション会議の導入、プロセスマネジメントを理解する。 	2時間 20分	講義 演習
事例検討No.1 疾患別ケースによる地域リハマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・初期認知症、老年症候群、摂食嚥下障害の3点の疾患別ケースを取り上げ、医師の指示から始まり、リハビリテーション専門職を含む多職種連携が生まれ、区市町村の介護予防事業のどのフェーズにつなげることができるのかを理解する。 	2時間	講義 演習
事例検討No.2 受講者事例による事例検討	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が持ち寄る事例、地域資源の報告により、地域移行の困難事例の共有や地域診断の視点を養う。また、事例情報から各グループ1つの個別事例の基本情報を設定し、興味関心チェックシート、リハビリテーション計画書(アセスメント)、基本情報を実際にまとめ上げることにより利用者に関する包括的な情報を得ることを学ぶ。 ・地域ケア会議についての理解を深め、各地域の特性や社会資源の状況に応じた実践の組み立てを行う。 ・地域レベルのネットワーク構築、アプローチ方法について地域包括支援センター、社会福祉協議会等の地域実線での積み重ねがある組織と、地域の専門職としてのリハビリテーション専門職がどのように協働し、相乗効果を発揮するのかのイメージを掴む。 	6時間	講義 演習

研修時間 12時間